

- 新年のご挨拶
- 成人式開催
- 議会だより vol.125
- ヘルスメイト ほか
- 中学校の活動紹介



奈半利町ホームページ <http://www.town.nahari.kochi.jp/>

祝

成

新年あけましておめでとうございます

人





奈半利町長 齊藤 一孝

# 謹んで新年のご祝辞を申し上げます

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまには、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日ごろは町政に対し温かいご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

新しい年を迎えるに当たり、昨年以上の積極的な取り組みで、経済不況を乗り越える足腰の強い町となるように、町民全体が力を合わせて町づくりを一層推進していききたいと決意を新たにしております。

奈半利町では、平成22年12月に「第5次奈半利町総合計画」を策定

いたしました。この計画は、平成23年度を初年度とし、平成32年度を目標年度とする10年間の計画であります。

「人いきいき地域輝く美しい町なほり」をキャッチフレーズに住民がしあわせを感じられる質感の高いまち、そして、時代に対応し、たくましく発展していくまちを目指し、そのために、住民や企業などと行政が手をつなぎ、明日を切り拓いていく協働のまちづくりに取り組んでいくこととしております。

- ① 人と自然が共生し持続的循環型の地域運営が行われていること。
- ② 人とものが動き輝いている地域であること。

③ 子どもからお年寄りまで、健やかで安心して暮らせること。

④ 明日を拓く人を育み、独特な文化が育まれること。

⑤ 地域内外の交流・連携が活発であること

この基本理念に基づき、昨年は、町民の皆さまが少しでも豊かに暮らし

ていけるよう当町の基幹産業である農業・漁業の基盤整備や新たな特産品開発による1.5次産業の振興など、高知県産業振興計画との連携も図りながらのハード・ソフトを含めた産業基盤整備と雇用の創出に取り組んでまいりました。ほ場整備完了や加領郷漁港修築事業など、年次計画に基づき着々と進めておりますが、これらの基盤整備に併せて、今後も、農業者・漁業者、そして関係機関との協力により、足腰の強い基幹産業に

していく取り組みが必要と考えております。

また、保健福祉業務につきましては、平成21年度から実施しております、高齢者をはじめとして子どもや障害者を含めたサービス事業「あつたかふれあいセンター事業」に加え、昨年は町内各地区での「ミニデイサービス事業」の普及を図り、地域で支え合う仕組みづくりの拡充に取り組むとともに、健康保持の基本となる健康づくり事業の充実、検診率の向上に努めてまいりました。

今後も、現状の事業・制度で満足することなく、常に検証しつつ、新たな方向を模索して、子育て支援や若者定住、そして高齢化社会の中で住民が安心して暮らせるまちづくり、介護・保健・福祉を推進することに努めてまいります。

次に、地域情報通信基盤網を活用

して、防災情報や地域情報の伝達手段を整備することにより、地域の安全・安心の確保や地域コミュニティの活性化が図られるようになりまし  
た。また情報を駆使して、産業に教育  
にあらゆる生活の分野に生かしてい  
ける人材を育成する取り組みの第一  
歩として、初心者向けのパソコン教  
室を開催しましたが、この取り組みは  
今後も定期的に続けていきたいと考  
えています。

さて、昨年3月11日には日本列島  
に激震が走りました。皆さんもすで  
にご承知のとおり東日本大震災とレ  
ベル7の東京電力福島第一原発事故  
があります。これらは未曾有の被害を  
もたらし、史上最大規模の地震と津  
波により、史上最大の尊い命や財産が  
奪われました。今なお、報道を通じて  
映し出された被災地の悲惨な状況が  
目に焼き付いており、現在もなお、多  
くの方々が不安で不自由な生活を余  
儀なくされています。被災された方々  
を思うと心がいたみます。災害に遭わ  
れた皆さまの一日も早い復興を願う  
ばかりでございます。

高知県におきましても、近い将来  
必ず来るといわれている南海・東南  
海地震への対策が急務となっております。

本町でも、この対策を最重点施策  
としまして、昨年には、現在想定され  
ている避難時間内に津波浸水域外に  
避難をすることが困難な住民に対し  
て、1号津波避難タワーの整備や奈半  
利中学校、小学校、町民会館には屋  
上に避難できる非常階段、手摺等の  
整備を施し、一時避難場所を確保す  
る施策を実施しております。また、昨  
年6月からは、津波の浸水予想地域  
や到達予想時間、避難できる施設  
(津波避難ビルや一時避難場所)、避難  
道路を盛り込んだ津波避難計画の  
策定に取り組んでおり、本年度完了  
予定で進めております。現在は、現地  
踏査や自主防災組織で決定された  
避難目標地点や一時避難場所の結  
果を踏まえた取りまとめを順次行っ  
ている最中です。

また、国の方では、「中央防災会議」  
東北地方太平洋沖地震を教訓とし  
た地震・津波対策に関する専門調

査会」の中間報告を踏まえ、南海トラ  
フの巨大地震である東海・東南海・  
南海地震について、新たな想定地震の  
設定を検討している最中であると聞  
いております。今後のスケジュールとし  
ましては、昨年11月末の会議で示さ  
れた内容では、本年3月、4月頃に揺  
れの強さや津波高のシミュレーション  
結果を明らかにし、6月頃に死者や  
倒壊家屋などの被害想定を出す方  
針とされております。

県においては、国からの方針結果を  
受け、さらにボーリングを実施して津  
波の痕跡を調査し、独自のシミュレ  
ションを行い、平成24年度中に津波浸  
水域、津波到達時間、津波最大高等  
を公表する考えで進めていると言  
うことです。

本町としましては、平成24年度から  
25年度にかけては、新たな想定が県か  
ら示され次第、現在の津波避難計画  
を見直し、町民の生命を守ることを  
念頭におきまして、津波避難タワーの  
建設、公共施設の耐震補強工事など  
に取り組み、また自主防災組織を中  
心に自助・共助を進め災害に強いま  
ちづくりを進めるなど南海・東南海

地震への備えの強化を図り、併せてラ  
イフラインの要であります本村簡易  
水道、本管の敷設替えに取り組み、ま  
た、町が指定する避難道には、避難路  
表示、避難誘導灯や道路改修等の整  
備を順次行つていき、さらに町道・橋  
梁の改良等のインフラ整備に取り組  
みたいと考えています。また、国・県  
から示された想定によりましては、役  
場機能の確保の観点から、仮の震災  
対策本部・防災無線室や備蓄倉庫  
の機能を持たせた防災拠点施設を高  
台に整備することも必要であると考  
えております。

その他にも、まだまだ多くの課題が  
ございますが、総合計画に基づき各  
施策を着実に実施することにより、  
「豊かで、元気で、自立できる奈半利  
町」に向け、そして「住民が幸せを感じ  
られる地域づくり」に全力を尽くし  
たいと考えておりますので、町政に対  
する皆さまの温かいご支援・ご協力  
を本年もよろしく願います。

結びに、皆さまの益々のご健康とご  
多幸を祈念しまして、年頭のご挨拶  
と致します。

なはりきれいな町をつくろう会活動報告について

なはりきれいな町をつくろう会では、11月20日(日)に、農地・水環境保全向上活動として、奈半利港清掃作業を実施しました。

当日は漁協前を中心に港内の漂流物の回収、港周辺のゴミ拾い、草刈り作業を実施し、30人以上のボランティアの方々に参加していただいたおかげできれいになりました。ご参加いただきまして本当にありがとうございます。

今後またなはりきれいな町をつくろう会への皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



▲ 作業風景



集合写真 ▶

ふるさと海岸にサンタクロース現れる？

12月17日(土)に、ふるさと海岸に手作りのサンタクロースが設置されました。

これは、海岸を散歩される方や観光にいられた方に少しでも心温まる風景をと、東浜地区会が自主制作し設置したものです。

手作りの愛らしいサンタクロースの姿には同会会員の地域を思う心が感じられます。

このほかにも東浜地区会では、地域をより良いものにしようと、地域の「ミニミニ」活動や環境美化に積極的に取り組んでいます。

これからも地域の活性化に向けた活動を期待しています。



福祉センターからのお知らせ

奈半利町立福祉センターでは週1回「民謡教室」「洋裁リフォーム教室」「着付け・組み紐教室」を行っています。講師の指導を仰ぎながら和気あいあいと行っております。

また、毎月第3火曜日に、65歳以上の通所できる方を対象に、楽しくいきいきと過ごせるようにミニミニサービスも行ってあり、いきいき百歳体操、陶芸や紙粘土による干支づくり、野外活動などを行っています。

興味のある方は、ぜひ、奈半利町立福祉センター(☎38-4204)までお気軽にお問い合わせください。



リフォーム教室 ▶



▲ 着付教室

## 平成24年 消防出初め式

1月8日に、中芸5力町村の消防団と中芸消防署が奈半利港緑地公園グラウンドにおいて平成24年の消防出初め式を開催しました。

午前9時30分には、全町村の消防自動車並び、来賓の祝辞のあと、服装・機械器具点検を行い、分列行進で式を締めくくりました。

その後、場所を奈半利川に移して、消防自動車による一斉放水を実施しました。奈半利町消防団は多気坂本神社において火鎮祭を執り行い、防火・防災に努める決意を新たにしましたのち、町内の防火水槽と消火栓の点検を実施しました。



消防団員の活動服が新しくなりました



## ☆町のニュース

### J A 共済連高知より A E D を寄贈していただきました

12月28日に J A 共済連高知より地域貢献活動の一環として、J A 土佐あき奈半利支所を通じて、A E D (自動体外式除細動器) 1台を寄贈していただきました。あらためてお礼申し上げます。寄贈された A E D は海浜センターに設置されています。



### 第7回土佐の町家雛まつりの開催

今年も古い町並みの保存等、幅広い活動をしているボランティア団体「なはり浦の会」を中心とした「高知県東海岸町並みネットワーク会議」の主催で、奈半利町・北川村・田野町・安田町・安芸市・吉良川町の6地域において、「第7回土佐の町家雛まつり」が3月1〜4日まで開催されます。この催しは、地域の皆さんが大切にしてきた雛人形を、昔ながらの民家に飾って、たくさんの方々に鑑賞していただくと同時に、地域の人、食文化や歴史を理解してもらう試みです。

奈半利町では、メイン会場を増田屋とし、全5力所で開催され、歴史と風情のある春の町並み散策を楽しんでもらおうと考えています。

開催場所  
なはりの物語館・増田屋・高田屋・武知家住宅  
濱田典弥家住宅



## 加領郷小学校【第2回 三校交流活動開催】

11月4日(金)

加領郷小が安芸市の東川小、下山小の2校を米ヶ岡生活体験学校に招待し、三校交流活動を行いました。

この交流会は、今年の9月から行われており、少人数の学校で人間関係が固定化されやすい環境を少しでも改善するために、この交流会を通



してコミュニケーション能力の育成を図る事を目的とし、自然環境が豊かな米ヶ岡生活体験学校で植物観察や、牛、ヤギ、ダチョウなどの触れ合いや、地域の方や生徒同士の交流など、子どもたちにとって思い出に残る1日となりました。



## 第2回通学合宿開催

12月2、4日にかけて、第2回通学合宿を開催しました。

参加者は、小学4年生ばかりの子どもたちで、通学合宿デビューを果たしました。

初めて親元を離れての集団生活でしたが、普段からお家でのお手伝いができていて、お釜のご飯炊き、食事作り、まきでお風呂を沸かしたりみんなで協力してできていました。

また、12月3日(土)では、クリスマスリースをみんなで作り、少し早いクリスマス気分を味わいました。



# 議会だより

VOL.125



## 謹賀新年

本年もよろしく  
お願い申し上げます

平成二十四年一月

議長

木下 清

副議長

安岡 規雄

議員

安岡 健

〃

岩内 博

〃

森岡 昌敏

〃

竹内 哲夫

〃

前田 勝亀

〃

中川 和明

〃

大西 洋三

〃

山中 茂

(議席順)

## 新年明けまして おめでとうございませす

町民の皆様には、穏やかで希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。平素より、町議会の活動に対し、温かいご支援とご理解を賜り、議会を代表しまして、心から厚く御礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災とそれに伴う福島原発の事故という未曾有の大災害が発生し、多くの方々の平穏な日常生活が一瞬のうちに奪われました。一日でも早く被災された皆様が以前のように安心して暮らせる日が戻るよう願うものです。

この大震災を通して、自然の脅威を見せつけられた一方で、被災地の方々の冷静沈着な行動と震災後の復旧・復興への取り組みをみるにつけ、あらためて日本人としての「誇り」と地域における「共助」の重要性を再認識させられました。

子どもからお年寄りまで、健やかで安心して暮らせるまちづくりには、住民相互の支え合いである地域の「共助」が大きな原動力となります。町議会といたしましても、町民の皆様と力を合わせ、当町のキャッチフレーズであります「人いきいき地域輝く美しい町なほり」を目指した地域づくりを積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

さて、震災により国・地方自治体の財政に大きな影響を及ぼす中、当町におきましても厳しい財政状況が続いておりますが、近い将来必ず起る

と言われています南海・東南海地震対策や少子高齢化対策、奈半利川水利権更新などの課題が山積しています。私ども町議会は、このような時こそ、町民の皆様のご意見・ご要望を町政に確実に反映させていくため、町に対し、より一層の重点的かつ効率的な財政運営を求めるとともに、町民福祉のさらなる向上を目指し、議員一丸となつて取り組んでまいります。

また、昨年、国において「地域主権改革関連三法」が成立いたしました。が、今後、地方自治体の自主性や主体性が高まるのに伴い、二元代表制の一翼を担う、議会の果たす役割もますます大きくなるものと考えられます。このような状況を踏まえ、これからの議員・議会活動のあり方などについて、積極的に検討を行い、町民の皆様視点に立つて、「開かれた議会」を目指した議会改革を進め、議会機能のさらなる向上と活性化に努めてまいります。

本年の干支は、たつ年でございます。様々な課題を乗り越え、「昇り竜」のように勢いよく飛躍する年になります。よつ、町民の皆様とともに、希望を持って歩みを進め、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりに向けて取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力を、心からお願いいたします。

結びに、今年も町民の皆様が健康で平穏な一年でありますよう祈念することにも、ご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

議長 木下 清

12月定例会は、12月15日に開会し、町長からの行政報告の後、計画変更案件1件、補正予算案件3件、議員提案の意見書1件を原案どおり可決し、16日に閉会した。

一般質問は5人が登壇し、震災対策や雇用対策などについて執行者の考えをたずねた。

# 主な行政報告

## ○災害時の応急活動協定

去る10月26日、地震、津波、台風などによる災害が町内で発生した場合に、地元の土木、水



▲災害時応急活動の締結式（役場）

道業者等の支援活動の協力により、すみやかな復旧を図ることを目的に「災害時の応急対策活動協力に関する協定書」の締結式を行った。

支援活動の内容は、災害の復旧、災害廃棄物の除去、資機材や物資の搬送など、町の要請に対して実施可能な作業への協力などで、賛同をいただいた地元業者の磯部組、木下建設、竹崎興業、前田重機、南燃料設備、森水道工事店、安岡水道工事店、吉崎水道工事店、幡西道路建設東部出張所、林造園の

旧、災害廃棄物の除去、資機材や物資の搬送など、町の要請に対して実施可能な作業への協力などで、賛同をいただいた地元業者の磯部組、木下建設、竹崎興業、前田重機、南燃料設備、森水道工事店、安岡水道工事店、吉崎水道工事店、幡西道路建設東部出張所、林造園の

10社と協定を締結した。今回の締結によって一層町民の安全・安心を守ることができると考えている。

## ○戸籍の電算化について

行政サービスの向上のため、平成22年度から戸籍の電算化を進めている。

現在戸籍2660戸籍（件）は、10月15日から新しい書式で戸籍の発行等を開始した。除籍・改製原戸籍は、平成24年6月30日完了予定で作業を進めており、来年7月以降はより一層の窓口サービスの充実が図れる。

## ○魚梁瀬森林鉄道開通100周年記念事業

去る10月10日、田野町ふれあいセンターで、中芸森林鉄道遺産を保存・活用する会の主催で「魚梁瀬森林鉄道開通100周年記念事業オープニングイベント」を実施した。

会場では、当時実際に森林鉄道を走っていた機関車への乗車や、中芸5町村のそれぞれが森林鉄道をイメージしたお弁当の

販売、伝統芸能、ガイド団体の代表者による座談会などが行われた。当町からは、「ホテルなほり」がお弁当の販売を行い、伝統芸能として多気・坂本神社の浦安の舞、座談会では、なほり浦の会が観光ガイド内容を発表した。魚梁瀬森林鉄道の中芸5町村共通の遺産として見直しを図り、観光資源として活用し、交流人口の拡大や中芸5町村のPRとなるように今後も事業を進めて行く方針である。

## ○町営事業

農業用水路樋門工事を平成23年11月28日に工事費1176万円で発注した。施工箇所は弓場地区にある2基の巻き上げ式樋門を自動転倒ゲートに変更するものであり、農作物の生産性の向上を図るとともに、水害を未然に防ぐことを目的としている。

また、台風6号により、裏山のがけ崩れがあった住家に対して、がけくずれ住家防災対策工事を平成23年10月12日に発注した。工事箇所は加領郷一本松地区で、工事費は162万円、完

成予定は本年12月21日となっている。

## ○先進企業との協働の森づくり事業

高知県が進める「環境先進企業との協働の森づくり事業」で、日本たばこ産業株式会社・高知県奈半利町郷分生産森林組合・奈半利町の4者は、平成18年度にパートナーズ協定を締結し、



▲協働の森づくり事業での間伐活動（池里）

協働で当町の約160ヘクタールの森林保全に向けた活動に取り組んできた。平成23年10月末が協定期間の満了であったが、継続した山の手入れが必要と考えられるため、新たに47・7ヘクタールを協定林に加えて、2期目の協定を平成23年10月18日に高知県庁で締結をした。

その活動の一環として、平成23年11月12日に「JTの森 奈半利」2011秋森林保全活動

が行われ、日本たばこ産業株式会社との四国四県の支店から社員とその家族約70人、地元からも約70人の参加があった。

当日の活動内容は、奈半利町郷分生産森林組合所有の山林0・5ヘクタールの間伐作業、奈半利川及びびるさと海岸の清掃を行い、山・川・海が近距離に位置する当町の特性を活かして広範囲な環境保全活動を実施した。その後、会場を米ヶ岡に移し、地元米で作ったおにぎりと豚汁で昼食をとり、森林環境学習や地元特産品販売・木工体験などを行った。

今後引き続き協定の精神に則り、パートナーと共に協力して協働の森づくり事業を進めていく。

## ○消防

懸案となっていた消防庁舎建設用地の問題については、地権者との協議が整い、所有権移転登記が完了した。現在、用地測量及び造成工事等に向け、事務作業を進めている。

11月末における管内での火災発生件数は5件（安田町2件、

田野町1件、奈半利町2件）で、前年同期に比べ3件の増。今後は「火災ゼロ」を目指して、消防本部並びに各消防団との連携による、年末年始の防火パトロールの実施などにより、火災予防に一層努めていく。

救急業務は、前年度は猛暑等の影響から、急病者の増加が見られたが、本年度は前年同期に比べ、出動件数で28件、搬送者数で22人の減少となった。

今後、住民生活の安全・安心確保のため、救急隊員の一層の資質向上に努めるとともに、応急手当等の普及啓発を行い、救命率の向上を図る。

## ○保健福祉

母子保健業務については、NPO法人の協力を得て実施している「どよう教室」等では、子どもの遊びを中心に、子どもとの関わり方や社会生活、コミュニケーション能力を養う場として、相談件数も増加傾向にあることから、10月からは、より必要な時期に早期に関わりが持てるよう、0～4歳児までを対象とした「びよびよ教室」「こっこ

教室」を新たに始めた。

健康増進、健康づくり業務は、「がん検診受診促進事業」として、40～50歳代への受診の個別勧奨や未受診者への再勧奨などのほか、子宮がん、乳がん検診は、検診無料対象者への受診勧奨を行っており、次年度の活動へとつながるよう、現在、その効果等についての分析を行っている。

障害保健福祉業務については、本年度予定の「障害者計画」「第3期障害福祉計画」の策定に向け、去る8月の自立支援協議会での専門部会設置の承認以降、計画策定部会や相談支援、こども支援といった各部会の開催を重ねながら、年度内策定に向け、更に細部の見直し等を進めている。

## ○その他

- ・奈半利会
  - ・県営事業
  - ・地籍調査
  - ・介護保険
  - ・火葬場
  - ・広域観光
- 等の行政報告が行われた。

# 委員会調査活動報告

## 地域振興常任委員会

(12月7日)

委員会の所管する担当課から調査事件の経過・状況等の説明及び報告を受け協議を行った。

### ○調査事件

平成23年度各工事の発注状況



▲整備が進む加領郷漁港の視察

### ○まとめ

#### ①橋梁点検委託業務

本年度調査中の橋梁点検は、現時点では危険な箇所はないと報告を受けている。

災害時に避難場所となる愛光園への避難経路にある国道に架かっている長谷川橋など、国の管理の橋梁について、点検や耐震工事等が実施されているか確認する必要がある。

・点検終了後には、調査結果を踏まえた修繕計画を策定し、拡幅要望などの検討も行いながら計画的に進める必要がある。

#### ②農業用樋門設置工事

・自動転倒ゲートへの改修が必要な主な水路の樋門は12基。平成22年度に4基を改修し、本年度は2基の改修工事を発注している。

・残り6基については、財政的なことも考慮し、交付金事業などの有利な事業を活用しながら、計画的な改修を行う必要がある。



▲建設中の1号津波避難タワーの視察

必要がある。

## 総務民生常任委員会

(12月7日)

委員会の所管する担当課から調査事件の経過・状況等の説明及び報告を受け協議を行った。

### ○調査事件

2号津波避難タワー

### ○まとめ

①2号津波避難タワー

・2号津波避難タワーは、石の公園敷地内の北側部分を建設予定地として設計中である。

・幼稚園や保育園の園児、周辺住民がスムーズに避難できるように周辺整備も検討する必要がある。

・幼稚園、保育園では、愛光園などの高台への避難訓練とあわせて、タワーへの避難も想定しながら、災害時に混乱しないように繰り返し避難訓練を実施することが重要である。

・公園の景観や既存施設になるべく配慮した設計とすること。

#### ②その他

・津波避難計画後には、かなりのハード整備が必要となるため、財源などを考慮した全体的な整備計画を策定し、効率的かつ計画的な整備を進める必要がある。

・毎年行われている避難訓練などへの参加者が少ない地区もある。さらなる防災意識の向上を図るため、訓練の内容や広報の方法について工夫する必要がある。

## ◆補正予算

本定例会に提案された補正予算は、一般会計に9630万円追加（累計26億4607万円）、後期高齢者医療特別会計に78万円追加（累計4809万円）し、国民健康保険事業特別会計から50万円減額（累計5億7777万円）するもので、審議の結果すべて可決された。

# 2号津波避難タワー 建設工事費に5000万円 建設予定地は石の公園



▲ 2号津波避難タワー建設予定地（石の公園）

## 主な一般会計補正内容

### 農林水産業費

加領郷漁港特定漁港漁場整備事業負担金1900万円など

### 土木費

高規格幹線道路等関連公共施設整備促進事業工事600万円など

### 消防費

2号津波避難タワー建設工事5000万円、

一時避難場所照明設備工事688万円など

### 諸支出金

地域情報化基金積立金4260万円など

## 12月補正予算の概要

(単位:千円)

会計別	補正	補正額	補正後の額	採決結果
一般会計	4号	96,307	2,646,075	賛成者全員
国民健康保険	2号	△501	577,776	賛成者全員
後期高齢者医療	2号	785	48,097	賛成者全員

## ◆計画変更

○奈半利町過疎地域自立促進計画の一部変更

この計画変更は、奈半利町過疎地域自立促進計画（平成22年9月策定）に社会教育振興事業等を追加・変更するものである。

賛成者全員（可決）

## ◆意見書

○野生有害鳥獣被害防止対策に関する意見書

提出者 森岡 昌敏 議員

賛成者全員（可決）

## ◆議員派遣

会議規則第121条の規定に基づき、議員を派遣する。

平成23年度新議員研修会

・日時 平成24年1月13日

・場所 高知市勤労センター

・派遣議員 新任議員

# 来年度の重点的な施策を問う

## 南海地震対策などを推進／総務課長

質一般  
問

いじはどいつする

**問** 町長は、第1「安全で安心なまちづくり」、第2「産業の振興」、第3「東部の交通拠点として機能確立と情報基盤整備による町の活性化」、第4「人にやさしいまちづくり」、若者が定住できる町づくり、第5「人づくり・人材育成」の5項目の重点施策の所信表明をされたが来年度の予算編成で、どのような施策に重点的に取り組むのか所見を聞く。

**答** 久川総務課長  
 近い将来必ず来ると言われている南海・東南海地震対策で、町民の生命と財産を守ることを念頭に置き、対策の強化を図る。  
 来年度は、ライフラインの要である本村簡易水道の配水管布設替え、町道・橋梁の改良でインフラ整備に重点的に取り組み、省エネルギー対策として、学校などの公施設に太陽光発電の導入を考えている。そして5項目の基本理念に基づき、健全な財政計画を考えて、各施策を実施するための予算編成を検討している。

### あったかふれあいセンター事業 来年度も事業継続して実施するのか

#### 事業継続して共生型の集いの場提供／住民福祉課長

**問** 地域の支え合いの場として小規模多機能施設、あったかふれあいセンター事業が行われた。高知型福祉の中核として、事業継続と住民への訪問活動、相談への対応、地域ニーズに応じた生活支援など追加し、機能拡充を図る。こ

の県の方針について所見を聞く。

**答** 竹崎住民福祉課長  
 あったかふれあいセンター事業は、高齢者、障害者、子ども、子育て中の母親を対象に、世代を超えた共生型の集いの場の提供と、



▲仲良く遊ぶ乳幼児と小学生（あったかふれあい事業）

地域でのサテライト型ミニデイ活動、子育て支援として乳幼児の一時預かりを行い、事業としての成果はあった。  
 来年度からは、集いの場の提供に加え、配食サービスの充実、訪問活動、生活支援なども取り組んでいく。現在、実施している高齢者福祉施策の見直しを含め、検討を重ねて、あったかふれあいセンター事業の機能拡充に努める。

## 議会を傍聴してみませんか？

# あなたの傍聴が議会を活性化します

次の定例議会は3月中旬です

議会事務局：☎38-8183



# 継続的雇用創出へのビジョンはどうする

## 一次産業の振興が不可／町長

**問** 雇用創出への取り組みとして、国からの交付金による雇用創出事業が創出され、当町においても延べ人数75人の短期的な雇用が創出された。

**答** 同事業は、平成23年度末で終了予定だったが、政府は事業期間を延長し、本県に23億7千万円が配分予定とされ、県は雇用対策として一般財源より30億程度を雇用創出事業に充当するという発表もある。いずれにしても、つなぎの側面はあるが、長期雇用につながる施策を模索しなければと考える。いろいろな施策を模索する中で、企業誘致を考えると、5年10年先を見つめた長期的ビジョンについて見解を問う。

**答** 細川地域振興課長  
中芸広域連合の処理する事務として企業立地に関する事務があり、企業誘致の候補地として、平山地区と野木場跡地を決めた経緯がある。その後、山崎機械、富士鍛冶、ダイネットが進出し、合計31人が就労している。

また、雇用促進協議会を平成18年に立ち上げ、体験型観光事業「試す」、食料加工品「供す」、郷土料理等「食す」の3つのキーワードで雇

用創出や人材の育成等の取り組みを行っている。平成23年度には、緊急雇用創出事業等を活用し、29人を雇用することができた。

**答** 齊藤町長  
雇用創出については、企業誘致、緊急雇用を活用した事業に重きをおくだけでなく、基幹産業である一次産業の振興が不可欠と考える。

平成21年度から地域アクションプランにおいて、イチジクによる地域の活性化を掲げ、「奈半利町」と言えばイチジク」のイメージが定着されるよう、生産者の拡大を図り、地域の特産品として育成している。

二次産業として、特産品の加工事業を起業して雇用対策を行い、町外への情報発信へと取り組む。農業においては、環境保全型農業の推進によるマルハナバチの活用、レンタルハウス建設の補助、ハウス資材の提供、共同農機具の活用等、就農に向け努力している。

また、漁業においては、県外から新規漁業者が2人入り、漁業者支援として、省エネルギー対策エンジンリース事業も導入し、漁業

への誘導を図っている。

当町などのように、企業誘致致案件の悪い地域は、奈半利港及び高規格道路の整備等を強く要望し、

### 水門1号線・役場前線の

### 交通緩和対策は

### 拡幅改良を検討する／町長

**問** 町道は、日常生活において地域の足であり、生活道路と呼ばれている。今や2つの路線は、夕方においては町内唯一の幹線道路として交通量が增大しており、役場・郵便局・学校・量販店等を結ぶ

近隣市町村と連携を図り、地域の事情にあった特産品を開発し雇用の場を確保、創出していくよう努力していく。

道路のため、自治体道路網の生活圏道路として重要な道路である。早急な部分的改修が必要ではないかと思うところである。

部分的改修の提案として、各水路へのグレーチング敷設、一番のネックである町営住宅前のフェンスの南側への移設、県管理の臨港線から量販店進入口の拡幅等改修を実施すれば、多少なりとも交通緩和が計られるのではと考えるが、見解を問う。

**答** 齊藤町長  
量販店の進出により、地域の交通量が時間的に増加し混雑するようになってきた。

ご指摘のあった路線については、量販店、役場への経路、また小学校への通学路でもあるため交通安全に配慮し、2路線の道路拡幅改良を検討する。



▲交通量が増加している町道水門1号線

# 雇用確保のための振興策は

## 予算獲得と雇用創出に全力で取り組む／地域振興課長

**問** 緊急雇用対策事業が21年から23年まで3年間実施された。この事業の3年間の総括と24年度の予算確保と雇用の見通しは。

また、緊急雇用事業は1年で終了する。働きたい人が園芸や特産のイチジク・オクラの耕作などを取り組めるよう積極的に農業支援を行う考えは。あわせて社会福祉協議会で実施してきた、あつたかふれあいセンター事業は行政効果も上げている。継続し実施すべきと思うが、見解は。

**答** 細川地域振興課長

緊急雇用対策及びふるさと雇用事業については、緊急雇用で21年度から23年度で延べ人数75人の雇用が創出でき、予算約7、800万円事業で実施できた。あつたかふれあいセンター事業は3年間で予算約1、700万円、2、7人の働きたい人の仕事が確保できた。24年度の予算獲得は、県の予算が23年度の半分程度減少しているが、当町としては、住民の皆さんの仕事確保のため、23年度同様に4、500万円を要望しており、予算獲得と雇用創出のため、全力を尽くしたい。

また、仕事が終了した働きたい

人達には、農業振興につなげるよう、積極的支援と今後の就農に関する支援制度など紹介し、就農を含む他事業への就職をスムーズに図れるよう努力したい。

**答** 竹崎住民福祉課長

あつたかふれあいセンター事業は23年度で終了するが、24年度から県・町が運営費を半額ずつ負担し、機能拡充を行いながら事業は継続して実施する予定で、雇用創出につなげると考える。



▲避難場所に指定している高台（宮ノ岡地区）

## 地震・津波対策は万全か

震災・津波対策に全力を尽くし、  
ヘリポート建設は前向きに検討したい／町長

**問** 国の防災基本修正案が11月に明らかになった。県と当町の見直し案の策定の時期の見通しと、重要な避難道整備にどう取り組んだか。24年度地震・津波対策の重点事業は。東日本大震災でも数多くの市町村の役場が移転を余儀なくされた。当町も放送施設や役場庁舎を高台に移転の準備が必要となる。また、高台にヘリポートを建設して、地震に備えることがどうしても重要と考えるが、見解は。

**答** 齊藤町長

見直し案は国の方針が来年6月頃となるようで、県は国の方針を受け、24年度に見直し案を策定する方向で進んでいる。当町も県の想定が示され次第、津波避難計画を見直していくと考えている。

避難道の整備については、住民の皆さんからの意見もお聞きしているし、来年、議員の皆さんと一緒に現地調査も行い、順次整備していきたいと考える。24年度の当

初予算の要望として、一時避難場所である津波避難ビルの整備（2箇所）、避難誘導灯の整備（愛光園までの誘導灯、町内避難道）、避難道の整備、2号津波避難タワーの建設（石の公園北側）、自主防災組織育成事業、自主防災組織防炎資機材の整備、住宅耐震化事業、津波等防災監視カメラ設置工事等を予定している。

役場庁舎、防災無線の高台への移転については、避難計画の見直しのなかで検討するが、防災無線室や備蓄倉庫機能を持たせた防災拠点施設整備は25年度に盛り込むことも検討している。

ヘリポートの高台への建設は、地震・津波が来れば国道55号線が決壊し、県東部は孤立することが想定される。けが人を病院への搬送、救援物資の輸送等を考えると重要な問題提起と考えるので、建設については前向きに検討したい。住民の命と財産を守るため、地震津波対策に全力を尽くしたい。

# 南海地震対策避難路への早期の取り組み見直しを問う

## 避難ルートへの確保は重要／総務課長

**問** 県は12月9日の2012年度当初予算編成において、地震対策関連で、2011年度当初(約108億円)を90億円上回る約198億円の大幅な増額となった。部局別では地震対策を担う危機管理部が4倍以上の大幅増となる予算を組む予定である。また、9月県定例会での一般質問者17人内10人が地震対策の質問をしている。

本町でも去る9月4日、県内一斉に「地域のみんなで防災訓練」が実施され、町内25力所の避難場所(約590人の住民の参加)があった。訓練終了後は、保健センターで自主防災組織連絡協議会を開催し、津波避難計画策定の受託業者から避難経路、一時避難場所の選定方法について説明を受けた。

各地区で一時避難場所等を再検討することとしたが、車椅子の人や体の不自由な高齢者が避難するには困難な避難路もあり、整備を求める声が上がっている。早期対応策を取り、また国土交通省や関係機関への要望が必要と考える。

国土交通省は12月12日に防災指針案として、市町村がつくる避難計画の対象地域では避難施設を確保するための規制緩和などの特例

適用や、県知事が津波災害警戒区域を指定できるとしている。法恩寺地区にある八幡宮様が避難場所となっているが、県に要請し、避難場所へ上がる階段を整備し、スロープや手すりを設置する考えは。

**答** 久川総務課長

平成23年3月11日に発生した東日本大震災以降、近い将来必ず発生するであろう南海地震に対する住民の避難に関する意識は以前にも増して高まっており、各自主防災組織からの一時避難場所等の案を取りまとめている。法恩寺・宮の岡地区自主防災組織からも八幡様への避難路について整備の要望がある。

政教分離の原則も考慮する必要があるが、町が一時避難場所に指定する八幡様への参道に避難路としての手すりや照明灯等の軽微な設備を整備しても問題はないと考える。避難ルートの確保は重要であり、県補助事業の導入も検討しながら進めていく。

### 高規格道路に緊急避難場所の確保を

#### 国、県の想定の見直しにより取り組む／総務課長

**問** 各市町村がそれぞれの避難場所を、より高い高台に変え、周辺にある物を利用し、避難場所を建設している。当町の樋ノ口、上長田の周辺の避難場所として、今、建設している阿南・安芸自動車道を一時避難場所として使えるよう要望し、設置する考えは。

**答** 久川総務課長

東日本大震災による想定外の津波で甚大な被害が発生した仙台市では、高規格道路(仙台東部道路)の盛土法面に避難し数百人が大津波から難を逃れたこともあり、重要であると認識されている。県内では、本年11月10日に香南市に建設する高知東部自動車道を活用した、住民向け津波避難広場の取り組みが高知新聞で報道された。

来年の国、県の想定の見直しによつては、津波浸水域として津波避難計画に高規格道路を一時避難場所として指定し、昇降施設等を整備する必要があることも考えられる。高規格道路等の盛土法面等を緊急避難場所とする場合、走行中の車両と避難者との接触を防ぐなどの安全対策を考慮する必要がある。町としては、国、県に対し安全面を確保してもらいながら、設置することを要望していく。



▲一時避難場所として活用したい高規格道路

# みんな待ってる加領郷漁港祭、復活

## 関係機関へ開催の働きかけを／地域振興課長

**問** 県東部の住民誰もが毎年楽しみにし、開催を待ち望んでいた加領郷漁港祭も、平成18年度を最後に中止となり、現在に至っている。中止になった要因として、①沿岸漁業の不漁で自力での開催が困難となった。②加領郷漁協の合併統合。③上記①の理由で県内一円から何日も前からカツオ・金目鯛等、目玉商品の調達に労力を要した。以上のことにより、全組合員が存続か中止にするかの採決を行い、わずか一票差で中止の道を選ぶ結果となった。

しかしながら、ほぼ半数は存続に手を挙げています。また、止むを得ず中止の道を選択した組合員の方々も、加領郷漁港、地区の隆盛を願っているのは当然であろう。

そこで行政の力をお借りすれば、復活への道も再び開くのではなからうか。行政の力とはお金である。これまでの漁港祭への補助金はわずか12万円である。奈半利町港祭りにおける花火大会へは460万円以上の補助金である。花火大会を多少なり縮小し、加領郷漁港祭へ50万円くらいを補助してあげれば、加領郷漁民も再度立ち上がり、待望の漁港祭復活も夢ではないように思うが、いかがか。

**答** 細川地域振興課長  
平成18年度をもって中止となった加領郷漁港祭については、地元の意欲、資金、人員不足等で開催は難しいとの話もあるが、町から地元への開催に向けての働きかけは行っている。今後関係機関とも協力し、加領郷漁港祭が開催されるよう働きかけていく。

### 発注者に町内業者の利用を働きかけ

### 可能な範囲での分離発注を／地域振興課長

**問** 町内の建造物を新築、または改修する場合、地元業者への配慮を考え、ほとんどが一括発注を避け、分離発注制度を導入している。しかしながら、現在工事継続中の町民会館の改修工事においては、一部は分離発注されているものの、また地元業者でも参加可能なものもあると思われるが、適切な措置により、細分化可能な範囲において、分離発注できるように、お願いしたい。

**答** 細川地域振興課長  
建設工事には、土木一式工事、建

築一式工事の2つの一式工事のほか、大工工事、左官工事、電気工事等26専門工事があり、合計28種類に分かれている。これらの工事の内容は、それぞれ他の工事の内容と重複する場合もある。これは建設工事が純粋に1つの工事のみにより完成されることはほとんどなく、通常複数の工事が程度の差はあるにしても絡み合い、あるいは補完し合って成り立っている。

現在当町での工事発注状況では、建築一式工事のなかでも、建築本体工事、機械設備工事、電気設備工事、敷地造成工事などに分離発注し、工事受注の機会均等を図っている。

### 事故が起きてからでは遅い

### 安全対策に万全を期す／地域振興課長

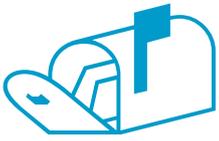
**問** 町内にはガードレールのない水路や農業用ため池、そして路肩などでも危険箇所が数多くあるのでは。中でも加領郷大原地区のため池は農道沿いにあり、通行も多いのでは、また、底は見えないが、相当深いのではと推測する。

過去にも近隣の児童が落下したと聞き及んでいる。その時は幸いにも救助が早く、事なきを得たことながら、一つ間違えば人命を左右する大事故につながるかも知れない。

行政というところは、事故が起これなければ行動を開始しないとかの風評や酷評をよく耳にする。当町では、このような評判は聞きたくない。そのためにも、早め早めの対応に徹し願いたい、いかがなものか。

**答** 細川地域振興課長  
町内には水路、ため池、河川、海、道路など多くの危険箇所が存在している。すべての危険箇所とされる場所への安全対策を実施することは、大変難しいと思うが、まず、人が日常生活する上での危険箇所を見回り、点検し、事故などの発生する前に安全対策に努める。

ご質問のため池につきましては、住民が生活する範囲の箇所であり、普段通行する道路に面する位置にあることから、地元住民の方とも相談し、安全対策を検討する。



# 認定こども園なはり便り

## 幼稚園 保育所

### ペッタン! ペッタン!



12月1日(木)に幼稚園・保育所合同でおもちつきをしました。

お友達がおもちをついている様子を見ながら、「ペッタン! ペッタン!」と叫びながら、一緒におもちをついたり、とても楽しそうでした。自分たちでついたおもちを、上手にコロコロと丸める園児や、手にくっついてしまう園児もいましたが、どの園児も感触を楽しみながら笑顔いっぱいにおもちを丸める顔が印象的でした。

保育所の園児たちも先生と一緒にきねを持ち、力いっぱいおもちをつきました。初めておもちをつくと園児もいましたが、日本の伝統に触れるいい機会となったので本当によかったです。

今回のおもちつきでは、婦人会・シルバードさん・社協・中芸消防の方々に手伝っていただき、本当にありがとうございました。



## 幼稚園 保育所

### ジングルベル♪ジングルベル♪



12月17日(土)に幼稚園、12月22日(木)に保育所と二日に分けて、サンタクロースがやってきました。

幼稚園児たちは、サンタさんを見ると、目をキラキラと輝かせ興味津々、サンタさんについて聞いてみたいこともあり質問攻め、ちよっぴりサンタさんも困ってしまう場面もありました。その後、園児たちからこの日のために練習してきた歌や踊りなどを披露し、最後にサンタさんからプレゼントをもらい大喜びでした。

保育園児たちは、サンタさんを見るなりビックリし、泣いたり、先生に抱っこしたり、緊張する園児が多い中、一緒に歌を歌ったり、踊ったりしているうちに慣れてきて、サンタさんがプレゼントを配る時には、そっこと近づいてプレゼントをもらってニコニコ顔で大満足の1日となりました。



平成24年度(平成23年分所得)

町・県民税申告のご案内

申告の際、必要なもの

町県民税申告と納税につきましては、日ごろからご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。本年も申告の時期がまいりましたので次のとおり、申告相談を行います。

- ☆印鑑
- ☆所得額のわかる資料  
給与・公的年金の源泉徴収票、生命保険の満期や個人年金の支払通知など
- ☆事業所得者の場合は所得額の計算に必要な記録簿
- ☆生命保険料控除証明書、地震(旧長期損害)保険料控除証明書
- ☆国民健康保険、介護保険料の支払額のわかる書類
- ☆国民年金保険料控除の適用を受ける場合は、年金機構発行の証明書、又は領収書(領収日が平成23年中のもの)が必要です。
- ☆医療費の支払額のわかる書類。
- ☆所得税の還付を受ける方は、ご本人名義の金融機関の口座番号がわかるもの。

所得税の確定申告は…

○安芸税務署では、1月から確定申告を受け付けています。申告期間中は込み合いますので、お早めに申告されることをおすすめします。

○上記相談日以外でも3月14日までは、役場で所得税の確定申告を受け付けます。

所得申告にあたって

○所得税と町県民税では、各種控除において町県民税の方が控除額が少ないなど、制度上の違いがあります。このため、所得税は非課税でも町県民税が課税になる場合や、逆に町県民税は非課税で所得税が課税となる場合

もありますので、控除できるものがある場合は所得申告の際にご相談下さい。

○町県民税では、障害者、未成年者、寡婦又は寡夫で、前年の合計所得金額が125万円以下の方は、各種控除額に関係なく非課税とする措置があります。障害者、寡婦又は寡夫の場合、所得控除もあります。該当される方は、所得申告の際に申し出て下さい。

○65歳以上で介護保険法に基づく要介護認定を受けている方は、身体障害者手帳の交付を受けていなくても、12月31日現在の介護度の現況によって障害者控除が適用される場合があります。

この適用を受けるためには、「障害者控除対象者認定書」が必要ですので、あらかじめ中芸広域連合介護サービス課(☎32-1165)に申請し、交付を受けておいて下さい。

なお、この適用と身体障害者手帳等による障害者控除を重複して受けることはできません。

○上記の相談日が都合のわるい方は役場総務課でも申告の受け付けを行っていますので、おこしください。

○確定申告以外の方は1月から町民税国保税の所得申告を受け付けています。申告の必要な方は、お早めにおいで下さい。

相談日	場所	相談区域	左記以外の日(祝日除く)	時間
1月31日(火)	高知県漁協加領郷支所(2階和室)	加領郷、大原、西の平	2月1日(水)~3日(金) (上記期間役場で受付)	午前9時30分~午後4時(正午~午後1時は休憩)
2月7日(火)	福祉センター	六本松、平、花田、宇川、須川、久礼岩	2月9日(木)~10日(金) (上記期間役場で受付)	
2月8日(水)		弓場、法恩寺、宮の岡、生木、東浜		
2月14日(火)	樋ノ口憩いの家	車瀬、中里、百石、樋ノ口、上長田	2月15日(水)~17日(金) (上記期間役場で受付)	
2月21日(火)	奈半利町役場	下長田、平松、東町、立町	2月22日(水)~24日(金) (上記期間役場で受付)	
2月28日(火)	奈半利町役場	横町、米ヶ岡、池里、港町	2月29日(水)~3月2日(金) (上記期間役場で受付)	

※上記相談日に都合がつかない方は、3月5日(月)~14日(水)までの間、役場総務課(税務係)にて申告を行ってください。

平成24年度 奈半利町奨学資金奨学生募集案内

区分	給付・貸与資格	給付・貸与額	募集期間
奈半利町奨学資金貸与	奈半利町に引き続き1年以上居住する者の子で高等学校以上の学校に在学し、学費の支弁が困難と認められる者 ※大学院は対象外です。	高等学校 月額15,000円以内 大学 月額30,000円以内 専修学校 月額30,000円以内 ※最長10年返済	平成24年3月1日~平成24年4月20日
奈半利町人づくり奨学基金給付	奈半利町内に居住する子弟で国立大学に進学または在学する者 ※大学院・高専は対象外です。	授業料 年額200,000円以内 入学料 200,000円以内 (入学した年度)	平成24年3月1日~平成24年4月20日

※上記金額は予定です。また、給付・貸与資格要件は上記の他にもあります。

詳しくは奈半利町教育委員会(☎0887-381-8188)までご連絡ください。

新成人の皆さんおめでとうございます

**20 歳 から 国民年金**



■20歳になったら国民年金

国内に居住する20歳以上60歳未満のすべての人は、国民年金に加入し、国民年金の保険料を納めることとなります。

収入等がなく保険料の支払いが困難な場合は「**学生納付特例制度**」(学生のみ)や「**若年者納付猶予制度**」(30歳未満)などの保険料免除制度があります。

■国民年金(基礎年金)3つのメリット

- 1 老後を支えます
- 2 病気やけがで障害の状態になったときに支えます
- 3 加入者が亡くなったとき、子のある配偶者、子を支えます

**老齢基礎年金**  
**障害基礎年金**  
**遺族基礎年金**

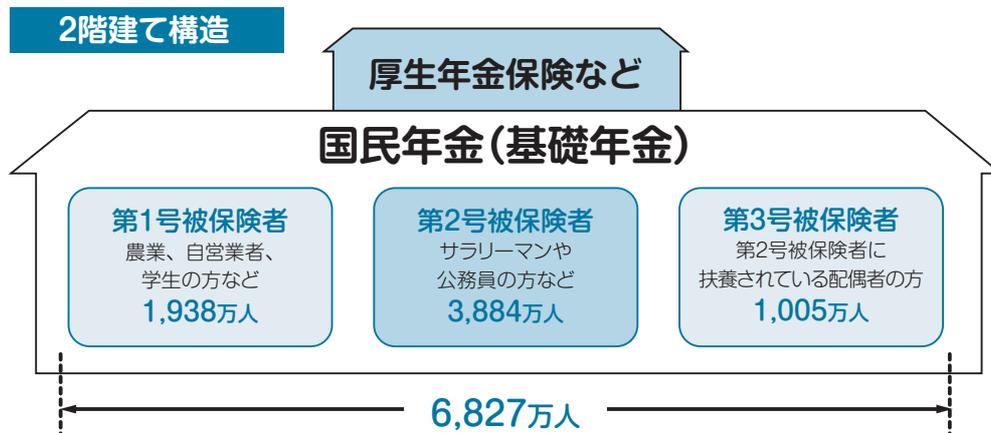
■世代と世代の支え合いの仲間入り

公的年金制度は、現役世代が納める保険料で高齢者の方の年金を負担するという「**世代と世代の支え合い**」が基本です。

■公的年金制度は2階建て

日本の公的年金制度は、2階建て構造になっています。

公的年金制度の仕組み(平成22年度末)



※20歳になったときの国民年金の手続きについては市(区)町村または、年金事務所までお問い合わせください。



## さまざまな英語 —Part 1—



マッキンタイア・  
ジャラ



最近では寒さも一段と厳しくなり、すっかり冬らしくなりましたね。私は昨年末に1週間オーストラリアに帰っていました。穏やかなオーストラリアの夏から、冬の日本に帰ってくると、やはり寒さを感じます。オーストラリアではおいしいものをいっぱい食べて、友達や家族と会い、大変リラックスできたので、充実した帰省となりました。皆さんも、充実した年末、新年を過ごせましたか？ 余談ですが、オーストラリアやアメリカでも「年を忘れて、新年を迎える」という概念が存在しますが、日本の「忘年会」に当たるものが存在しません。かわりに、年末に「クリスマス・パーティー」を行うことが多いです。そして、新年に入ってから「新年パーティー」が行われます。大晦日に家族と過ごすより、パーティー、特に花火大会を行うことが多いです。シドニーの大会は特に有名で、ライブや打ち上げ花火なんかもあって、昨年は100万人以上の来客がいたようです。これも大晦日の気候が関係しているのでしょうか。



さて、皆さんは英語にもさまざまな方言があるということをご存じですか？ 今回は英語の方言について詳しく説明させていただきます。まず方言について話すと、ある問題があります。それは言語と方言の違いがかなり曖昧だということです。方言は単に一つの言語において、ある地域の特別な言い方からなるものだと捉えられることが多いでしょうが、この定義に問題があります。相互に理解できる言語もあれば、一つの言語の中に相互に理解できない方言もあります。例えば、ヨーロッパではスペイン語、ポルトガル語がそれぞれ別の言語だとされますが、同じくラテン語の子孫で、似ているところ、相互に理解できる場所も少なくないようです。一方、同じ言語なのに、方言は文法も単語も発音も全く違う言語もあります。中国語がこの伝統的な例の一つです。この問題を回避するために、言語は書き方や放送の基準などが定められ、国によって国語として掲げられた方言だという定義を使うことがあるようです。日本語はこの定義によく適合します。文章、放送、教育（先生の話し方を除いて）などで、日本全国で使われる標準語があって、それぞれの地域に話し言葉として使われる方言があります。

しかし、この定義では、「英語」というものが存在しません。むしろ、アメリカ語、イギリス語、オーストラリア語、アイランド語など、それぞれの地域の方言を国が掲げて、放送、学校教育、法律用語などの基準を定めた言語があり、それぞれの言語の中に、地方で話し言葉として使われる方言があります。ただし、相互理解度が（地域によって）かなり高いことから、この全体が「英語」という一つの言語として捉えられます。替えて言えば、皆さんに理解していただきたいのは、英語の「方言」と、日本語の「方言」は質が違うものということです。日本の「方言＝地元の話言葉」という考え方は英語圏で通じません。英語の「方言」がそれぞれの国の標準語であり、さらに一つの「方言」の中に地元の話し言葉である地方の方言もあります。

さて、英語の「方言」がどのように違うか分かりますか？ 発音の違いから言えば、英語では、母音は弱く、子音は強く発音されるため、母音は変わりやすく、方言によって違うことが多いです。例えば、オーストラリア英語では単母音（母音の組合せではない母音）が12個あって、長音と短音が区別されます。一方、アメリカの英語では単母音が方言によって11-15個ありますが、短音・長音の区別が存在しません。さらに英語の方言は「r抜け」と「r含み」という二つのタイプに分けられています。「r抜け」方言では、音節の終わりの「r」が発音されません。例えば、「car」は最後の「r」を抜いて、「カー」と発音します。アメリカ・カナダの方言は、ニューヨークを除いて、基本的に「r含み」ですが、これら以外、スコットランドとニュージーランドの南島の南部を除いて、他の方言はすべて「r抜け」のようです。

今回はここまでですが、次回もこのテーマを続けて英語の方言の単語の違いについて話してみたいと思っています。単語の違いはいっぱいあって、面白いテーマだと思いますので、皆さんお楽しみにしてください。それでは、これから、寒い冬の日々が続くでしょうが、皆さん、体調の管理に気をつけて、いい冬を過ごしてください。



今年度の事業では、生活習慣病ワースト25ステップアップ事業「高血圧予防教室」を開催しました。

## 高血圧の現状

年齢とともに血圧が上昇する傾向があります。  
わが国では高血圧の人が約50%を超えるのは、男性で50代(59.2%)、女性では60代(57.6%)です。70歳以上になると、男性では約71.4%が、女性では約73.1%が高血圧となっています。



生活習慣病というのは、長年の生活習慣がもととなって起こる病気です。急増する年代より前から注意しましょう。  
高血圧を招く生活習慣はもっと若いうちから始まっていますので、子どものうちから、高血圧の危険因子を減らして健康的な生活を送るよう心がけましょう。

## 減塩で高血圧を予防しよう！

### 塩分の上手な減らし方

#### 薄味でおいしく食べられる工夫

素材の持ち味を最大限に生かした調理で塩分は控えられます！  
旨味や酸味、辛味、香りなどをアクセントとして上手に取り入れましょう。

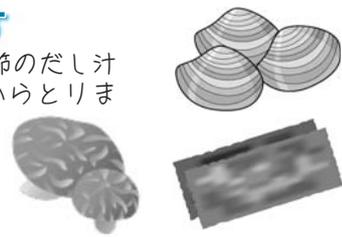
#### 鮮度の良い食材で

とれたての魚や野菜は、そのままです。旬のものは栄養だけでなく旨味も十分なので、少ない調味料でおいしくいただけます。



#### 旨味を生かす

昆布やかつお節のだし汁は、天然の材料からとりましょう。



#### 酸味を利用する

薄味料理には酸味が欠かせません。酢のほかに、かんきつ類を使ってみるのもよいでしょう。酸味が苦手な人はだし汁や酒を混ぜ、割り酢にすると食べやすくなります。



#### 香辛料を利用する

香辛料を上手に取り入れることで料理にメリハリをつけ、素材の味を引き立てることができます。



#### 香味野菜や種実類を利用する

薬味や吸い口として使う香味野菜は、薄味を上手にカバーしてくれます。また種実類も独特の香りと濃厚な旨味で、満足感をアップさせます。



#### 焼き味、風味付けの利用

調理の際、仕上げにしょうゆを鍋肌に回し入れて、材料に絡ませるようにすると香りが立ち、少量でも味が濃く感じられます。



### 簡単レシピ 副菜にとりいれてみませんか！

#### ブロッコリーとパプリカの和え物

ブロッコリーはカロテン、ビタミンC、カルシウム、鉄、食物繊維など栄養価の高い食材です。

材料(2人分)

ブロッコリー	100g	
パプリカ	20g	
長ねぎ	10g	
A	しょうゆ	小さじ1
	だし汁	小さじ2
	ごま油	小さじ1/2

作り方

- ①ブロッコリーは小房にわけ、ゆでておく。
- ②パプリカはせん切りにし、さっとゆでる。
- ③長ねぎはみじん切りにしてAと合わせる。
- ④①、②を③で和える。



## 永住帰国した中国残留邦人・樺太残留邦人の皆さまへ

一定の要件に当てはまる60歳以上の中国残留邦人等の方々に、満額の老齢基礎年金を支給する制度があります。この制度が始まった平成20年1月1日時点で一定の要件に当てはまっていた方は、平成24年12月31日が申請の締め切り日となります。

まだ、申請がお済みでない方は、下記までお問い合わせください。



### ご連絡・お問い合わせ先

厚生労働省中国孤児等対策室

☎03-5253-1111(内線3468)

厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/engo/dl/zanryukoji12-01.pdf>



つゆ草  
 天守閣どこからも見え歳の市  
 冬紅葉絵巻の如く汽車の窓  
 小港に航ふ漁船や鴨浮寝  
 歳末の花の市場は赤多し  
 朝霜の小島のごとく小等の沓  
 宇宙より帰還の人や凍る地へ

セツ子  
 いさみ  
 いくよ  
 つね子  
 とし子  
 さち子

短歌  
 年かさね  
 淋しき思ひの多い日は  
 G線上のエリア  
 聞きつねむる

手嶋和子

氏名	死亡年月日	性別	年齢	地区名
坂本 未香	H 23・11・1	女	76	横町
奥谷三三子	H 23・11・3	女	76	法恩寺
小松 岩重	H 23・11・11	男	86	下長田
釜原 壽	H 23・11・14	女	87	立町
竹崎 茂子	H 23・11・16	女	85	久礼岩
瀬川 米吉	H 23・12・1	男	91	愛光園
松岡 秋恵	H 23・12・1	女	89	法恩寺
長田 幸治	H 23・12・5	男	85	六本松
能勢喜代子	H 23・12・7	女	80	二区
檜垣 益幸	H 23・12・7	男	71	六区
山岡左千恵	H 23・12・8	女	75	五区
近藤 泰博	H 23・12・12	男	69	横町
能勢 里美	H 23・12・15	女	84	一区
能勢 顯	H 23・12・15	男	66	三区
手島 俊一	H 23・12・17	男	48	法恩寺



★謹んで  
お悔やみ申し上げます

氏名	生年月日	性別	父	母	地区名
河野 優永 <small>こうの ゆうと</small>	H 23・11・8	男	永典	綾華	横町

およろこび  
 ☆おめでとうございませ

Vol.11-1

# 中学校だより



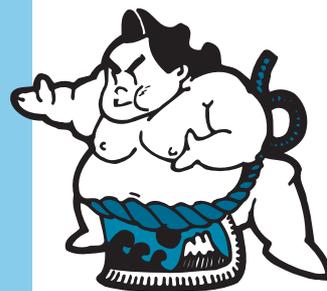
11  
13  
SUN



## 十兵衛相撲大会出場

室戸市羽根町で十兵衛相撲大会が開催され、奈半利中学校から2年生・川島智文君、1年生・東野宏哉君、武富祐希君の3人が出場しました。大会では団体、個人戦とあり団体戦では、惜しくも第4位となりましたが、個人戦では、川島智文君が2年生で第3位、武富祐希君が1年生で第3位と大健闘しました。

保護者、地域の皆さま応援ありがとうございました。



# Vol.11-2 中学校 **だより**



11  
18  
FRI

## 小学6年生体験入学

奈半利中学校において、小学6年生の体験入学を実施しました。

本年度の参加児童は、加領郷小学校4人、奈半利小学校29人、計33人の参加があり、体育館で中学校の説明会を行った後、理科教室へ移動をし、小松先生の理科体験授業を行いました。最初は緊張した面持ちの児童の顔が、体験授業で「物は燃やすと軽くなるか重くなるか」という実験を行い、児童全員大盛り上がりでの楽しい授業ができ、児童の緊張が解けました。

その後、部活の見学や体験等を行い、来年度から入学する奈半利中学校の1日を体験することができ、児童たちは、希望を胸に小学校へ帰りました。



11

20  
SUN

## 高新中学駅伝競走大会出場



春野運動陸上競技場にて、第62回高新中学駅伝競走大会が開催され、奈半利中駅伝部が安芸地区予選を突破し出場しました。

エース田中尚人君を中心に、一丸となって日ごろの練習の成果を出し切り、参加30チームの中16位でタスキをつなぎました。

その中、田中尚人君が第3区で素晴らしい走りを見せ、9分35秒と区間新記録を達成しました。

区間	氏名	タイム
1区	池田 瑞樹	10'22"
2区	細川 凱良	10'39"
3区	田中 尚人	9'35" (区間新)
4区	森口 拓弥	11'15"
5区	前田 充貴	11'03"
6区	和田 圭人	11'02"

12

4  
SUN

## 中学3年間の集大成!! 高新ロードレース出場

都道府県駅伝選手の選考も兼ねて、高新ロードレースが開催され、奈半利中学校から3年生・田中尚人君が出場しました。中学生生活最後の陸上大会でもあり、高知県代表選手に選考ということもありましたが、1週間前のケガからうまく調整ができず、当日も痛みがある中のレースとなりましたが、3年間の意地の走りで中学男子3位(9'11")という結果となりました。

**コメント: 陸上部顧問 原山 芳枝**

この大会のためにつらい練習をずっと一人でがんばってきましたが、お母さんや、たくさんの方々の応援で、最後に一番最高の記録で無事ゴールすることができました。残念な結果となりましたが、この大会、この3年間で得たことを、今後の糧とし大きく前に進んでください。

**コメント: 田中 尚人君**

中学3年間、充実した陸上生活を送ることができました。最後の大会では、ケガをしてうまく調整もできず、悔いの残る大会となりましたが、この悔しさをバネに今後の市町村駅伝や高校陸上にむけて頑張っていきたいと思っておりますので、応援よろしくをお願いします。



田中 尚人君

12  
**10**  
 SAT

11  
 SUN

12  
**17**  
 SAT

## 第18回 安芸地区中学校新人球技大会

12/10(土)・11日(日)・17日(土)の3日間にかけて、安芸地区中学校新人球技大会が開催されました。バスケットボール部は県立安芸中高等学校体育館、卓球部は県立室戸体育館、野球部は安芸市営球場、室戸マリン球場と4会場に分かれて、新チームなって初めての公式戦を迎えました。結果は、以下の通りとなりましたが、各部とも今後課題を残す結果となり、次回に向けて練習に取り組んでいきたいと思っておりますので、保護者・地域の皆さまご協力お願い致します。応援ありがとうございました。

### バスケ部

- ◇1試合目 対 県立安芸・吉良川中 14-50 ●
- ◇2試合目 対 佐喜浜中 21-57 ●
- ◇3試合目 対 清水ヶ丘中 27-37 ●
- ◇4試合目 対 室戸中 21-36 ●



### 卓球部

- ◇団体 予選リーグ敗退
- ◇個人戦 岳本 心 2回戦出場



### 野球部

- ◇1試合目 対 甲浦中 10-0 ○
- ◇準決勝 対 室戸中 1-7 ●
- ◇3位決定戦 対 芸西中 1-1 ●  
 (10回設定ゲーム 1-2)



# 平成24年成人式 新成人の門出祝う

新成人の皆さん  
おめでとうございます。

奈半利町では、1月3日(月)奈半利町保健センターを会場に新しく大人の仲間入りをした28人(該当者は男性18人、女性19人、合計37人)が出席し、奈半利町成人式が盛大に行われました。高知県内では、男子3,551人、女子3,464人の方が新成人となりました。



式典では、齊藤町長の式辞をはじめ、教育委員会の南委員長、町議会の木下議長、高知県議会の浜田議員から激励の言葉を頂きました。新成人を迎えられた皆さんも、身の引き締まる思いで粛々と聞いていました。



続いて、新成人を代表して、西野貴仁さんが「奈半利町出身者としての誇りを胸に、責任のある社会人として歩んでいくことを誓います」と力強く宣誓の言葉を述べました。

式後、記念撮影を行い、続いて記念行事にて二十歳の抱負や将来の夢を漢字一文字で語っていただきました。



2012年

# 新成人の抱負！！

## 漢字一文字で表すと？

成人おめでとうございます。  
 これからは、一人の独立した人間として、社会的にも法的にも責任が与えられます。自分を見失わず、責任と自覚をもって、この一文字の決意を今後の糧として大きく花を咲かせてほしいと思います。  
 またこの小さな蕾を、家族、職場、そして地域の皆さまで育て、奈半利町を明るい街に…願います。

NO. 280

平成24年1月発行

編集／奈半利町広報編集委員会

☎0887-384011

所在地／〒781-6402 安芸郡奈半利町乙1-659-1  
 ☎0887-384011  
 ☎0887-387788  
 印刷／(株)高知新聞総合印刷



平成24年、奈半利町で大人の仲間入りをされた37人です。  
 (奈半利町在住で当日欠席された方も含む)

計18人

- |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|
| 横山 | 山中 | 山谷 | 安岡 | 増岡 | 藤山 | 藤丸 | 西野 | 利岡 | 竹崎 | 宗崎 | 川本 | 川久 | 梶原 | 小笠原 | 太田 | 飯田 | 安部 |
| 山  | 中  | 谷  | 岡  | 岡  | 山  | 丸  | 野  | 岡  | 崎  | 崎  | 本  | 久  | 原  | 原   | 田  | 田  | 部  |
| 章  | 裕  | 兼  | 典  | 樹  | 実  | 司  | 仁  | 也  | 翔  | 弥  | 太  | 斗  | 智  | 啓   | 勇  | 昇  | 啓  |

男性

計19人

- |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 吉岡 | 矢田 | 桃田 | 濱田 | 島中 | 野口 | 西崎 | 新井 | 中村 | 利岡 | 谷 | 田中 | 田中 | 竹崎 | 川島 | 門田 | 大寺 | 池田 | 安部 |
| 岡  | 田  | 田  | 田  | 中  | 口  | 崎  | 井  | 村  | 岡  | 谷 | 中  | 中  | 崎  | 島  | 田  | 寺  | 田  | 部  |
| 歌  | 夏  | 桃  | 歩  | あ  | 美  | 綾  | 真  | 鮎  | 恵  | 百 | 愛  | 未  | 爽  | 夏  | 翔  | 知  | 早  |    |
| 穂  | 子  | 薫  | 加  | の  | 里  | 華  | 奴  | 香  | 子  | 利 | 奈  | 爽  | 実  | 実  | 子  | 加  | 紀  |    |

女性